



スキー場諸元

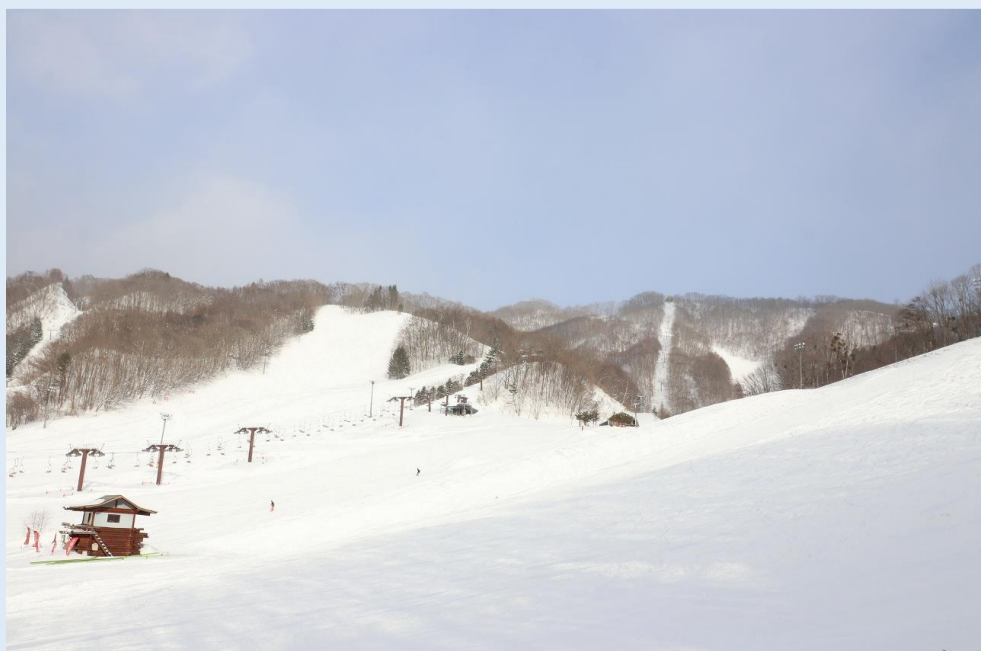
名称：スノーパーク尾瀬戸倉

総面積	54 ha
コース数	9 本
標高差	315 m (1,077 m-1,392 m)
最大斜度	38 度 (荒山)
リフト総延長	2,998 m
リフト数	6 基
事業者	(株)P&C尾瀬
開業時	(財)尾瀬労働勤労者休暇センター

“尾瀬の最奥”歴史あるアクティブなスキー場

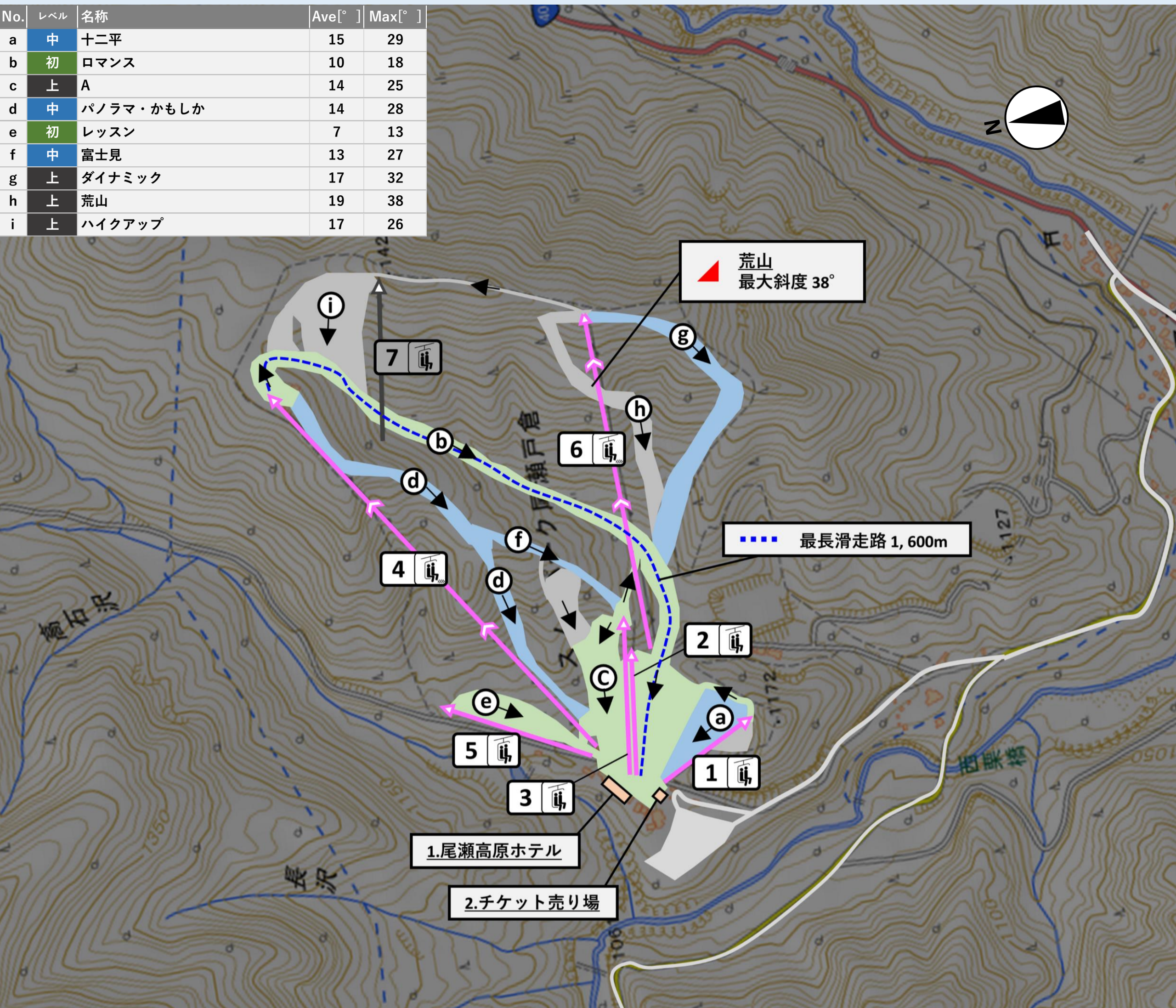
スキー場開業は1962年であり尾瀬エリアでは最も歴史あるスキー場。ゲレンデはコンパクトながら、中斜面・上級者斜面が揃っており滑走満足感を感じられる構成になっている。特に**(b)**ロマンスコースは谷状の地形ゆえハーフパイプのような斜面がつづき、コースにはジャンプ・ジブ等も流れるように配置されているため飽きなく非常に楽しめるコースとなっている。また、尾瀬戸倉のホームページに「#戸倉はすいている」と宣伝されていることもあって人はまばらであり、2本の適度な位置に架けられた高速ペアリフトでストレスなしに滑走を楽しめる。さらに、リフト券も近隣スキー場と比べて大変良心的な価格設定となっており、平日は2,500円で滑れる日もある。

近年はリフトを含めた設備や施設に投資されていないように感じ、スキー場全体は俗に言う昭和な印象を受ける、また、おしゃれ感はあまり感じられないため、滑りに専念したい方向けのスキー場といえる。



コースマップ

No.	レベル	名称	Ave[°]	Max[°]
a	中	十二平	15	29
b	初	ロマンス	10	18
c	上	A	14	25
d	中	パノラマ・かもしか	14	28
e	初	レッスン	7	13
f	中	富士見	13	27
g	上	ダイナミック	17	32
h	上	荒山	19	38
i	上	ハイクアップ	17	26



No.	定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	キロ程グラフ	山麓標高[m]	山頂標高[m]	高低差[m]	高低差 グラフ
1	1	CLF	-	第1ペア	244		1,077	1,152	75	
2	2	CLF	-	第2ペアA	244		1,082	1,130	47	
3	2	CLF	-	第2ペアA	328		1,082	1,163	81	
4	2	CLD	-	第3高速ペア	1,075		1,085	1,356	271	
5	2	CLF	-	第4ペア	298		1,090	1,128	38	
6	2	CLD	-	第5高速ペア	809		1,124	1,392	268	
7	2	CLF	-	▲第6ペア	374		1,281	1,404	123	

■ : 連絡線 ▲赤字 : 休止中/廃止

▼(b)ロマンスコース上部

コース脇には壁があり楽しめる。



▼(h)荒山コース

距離が長く急斜面のためかなりのハードバーン



駐車場・アクセス情報



P1.屋外駐車場	
時間(平日)	24時間利用可
(休日)	24時間利用可
料金(平日)	無料
(休日)	無料
収容台数	約900台
・未舗装	

▼ ① 駐車場入口



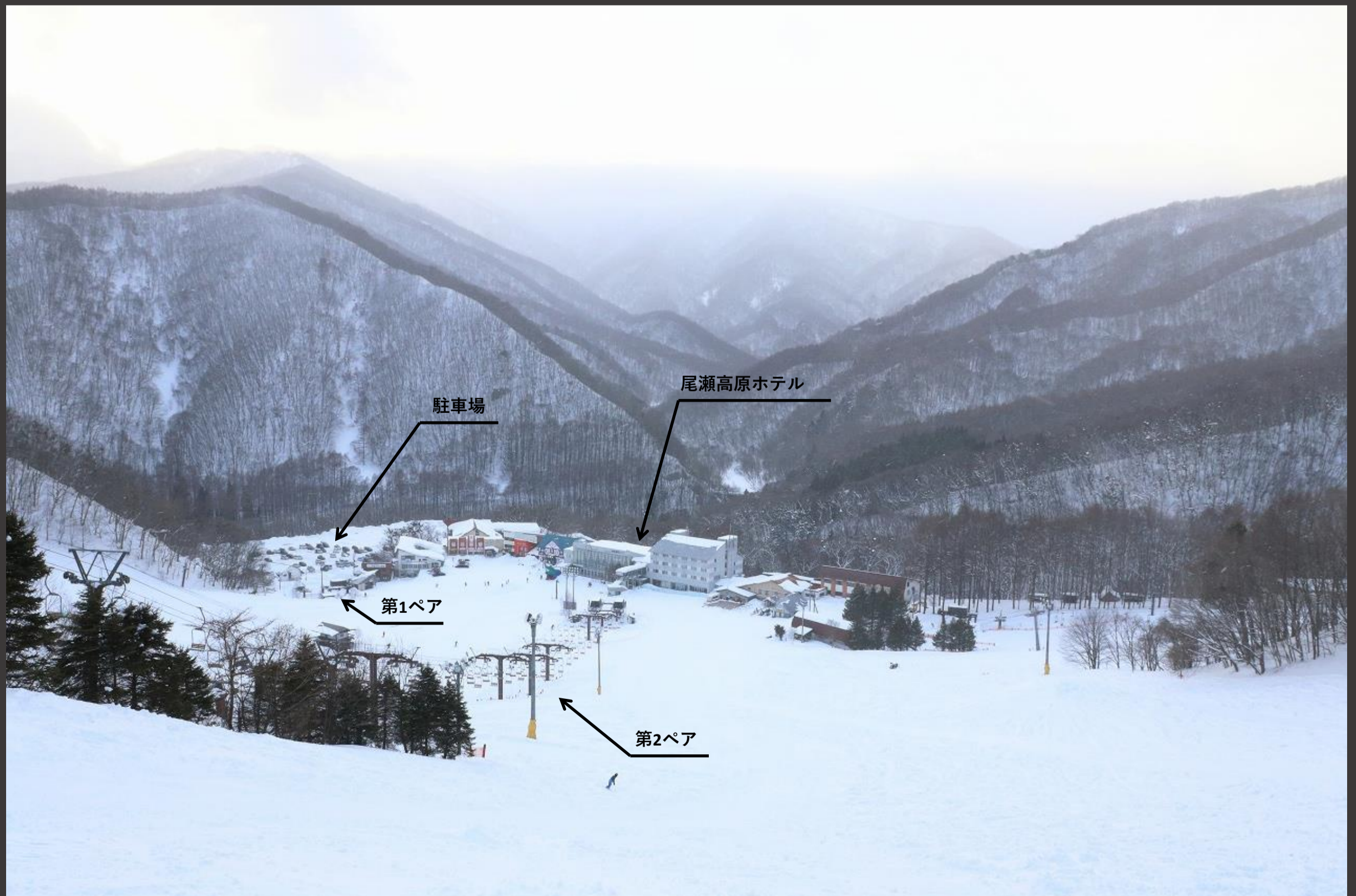
▼ ② 駐車場からゲレンデまでは上り坂
 チケットを購入したら最初に第1リフトに乗車すると、楽に第3高速や第5高速ペアに滑り込める。





▼第5高速ペアは安全索道製のペアリフトの中でも珍しい搬器。





1.第1ペア



線路諸元

名称：第1ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	244 m
高低差	75 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	時計
支柱数	6 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1962年10月
運行開始年月	?
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



1.第1ペア



1.第1ペア



2.第2ペアA



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：第2ペアA

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	244 m
高低差	47 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	時計
支柱数	7 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1976年8月
運行開始年月	1976年12月
メーカー	日本ケーブル

3.第2ペアB



線路諸元

名称：第2ペアB

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	328 m
高低差	81 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	時計
支柱数	9 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1962年10月
運行開始年月	1976年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



2,3.第2ペア



4.第3高速ペア



線路諸元

名称：第3高速ペア

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	1,075 m
高低差	271 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	12 基(六角柱)
速度	4.0 m/s
定員	2 名
搬器	分割2人乗り
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1988年10月
運行開始年月	1989年12月
メーカー	安全索道

▼山麓停留所



▼山頂停留所



4.第3高速ペア



4.第3高速ペア



4.第3高速ペア



非常に珍しい六角柱

フード付きクワッドでも採用されている、一人ずつ独立した搬器搬器構造は、よくあるペアと変わらない。

4.第3高速ペア



4.第3高速ペア



5. 第4ペア



線路諸元

名称：第4ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	298 m
高低差	38 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	6 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1986年9月
運行開始年月	1986年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所

No Image
Available

6.第5高速ペア



線路諸元

名称：第5高速ペア

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	809 m
高低差	268 m
輸送能力	1,440 p/h
回転方向	時計
支柱数	15 基
速度	4.0 m/s
定員	2名
搬器	新型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1994年8月
運行開始年月	1994年12月
メーカー	安全索道

▼山麓停留所



▼山頂停留所



6.第5高速ペア



1990年後半より登場した安索新搬器。見た目は日本ケーブルのモデルEと似ており、安索の標準となると見えたが、2020年代の新設リフトでは採用されていない。三菱・太平・樫山と共通モデルとも考えられる。

非常に珍しい六角柱

6.第5高速ペア



6.第5高速ペア

▼搬器発車間隔は通常の6秒ではなく、5秒であり輸送能力が増強されている。
また、山麓・山頂駅舎は車庫線も兼用のため、大きめの構造となっている。
未確認であるが、5.0m/s対応のリフトの可能性はある。



6. 第5高速ペア



6. 第5高速ペア



7.第6ペア



線路諸元

名称：第6ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	374 m
高低差	123 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	時計
支柱数	9 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1982年9月
運行開始年月	1982年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所

No Image
Available

7.第6ペア

